

昭和大学新聞

藤が丘病院に

「昭和大学口唇口蓋裂センター」設置

昭和大学口唇口蓋裂センターが10月2日、昭和大学藤が丘病院内にオープンした。同センターは、10月1日付で医学部形成外科科学講座の藤が丘病院への移動を機に、新たに全学的なセンターとして整備したもの。センター長は医学部形成外科科学講座の大久保文雄教授。副センター長は、医学部形成外科科学講座の門松香一教授と歯学部歯科矯正学講座の横宏太郎教授。また、口



唇口蓋裂治療の権威である鬼塚卓彌名誉教授が名誉センター長に就任した。昭和大学は口唇口蓋裂で全国一位の治療実績を誇る。2012年からはマダガスカル共和国に医療チームを毎年派遣し、口唇口蓋裂に苦しむ子どもたちの治療にあたるなど、意欲的な取り組みを続けている。初日となった10月2日には開所式を挙げる。小口勝司理事長と小出良平学長、大

学校法人 昭和大学
 発行人 小口勝司
 電話 (3784) 8000 〒142-8555
 東京都品川区旗の台1の5の8
 1部 50円 毎月1回発行

- #### 12月号の内容
- 1面
 - 昭和大学口唇口蓋裂センター開設
 - ホームカミングデー開催
 - 上條記念館建設状況
 - 2面
 - 永年勤続表彰式
 - 緑風祭開催
 - 緑風祭実行委員長感想
 - 推薦入試報告
 - 3面
 - マダガスカル口唇口蓋裂医療協力に参加して
 - 日本神経治療学会賞受賞
 - 4面
 - 学生海外研修
 - 就任のお知らせ
 - 昭和大学サポート寄付制度
 - 上條記念館座席プレート申込み状況
 - サークル紹介

【問合せ先】
 【本紙について：総務課出版・WEB・フォト係】
 03-3784-8059
 press@ofc.showa-u.ac.jp
 【各種募金・寄付について：企画課】
 03-3784-8011
 【学事について：学務課、大学院・卒業教育課、入学支援課】
 03-3784-8022(旗の台)
 0555-22-4403(富士吉田)
 045-985-6503(横浜)
 03-3784-8026(入学支援課)

昭和大学口唇口蓋裂センターの開設にあたって



昭和大学口唇口蓋裂センター長 大久保 文雄

昭和大学口唇口蓋裂センターを昭和大学藤が丘病院内に開設いたしました。1980年に形成外科初代主任教授鬼塚卓彌先生が中心となって、医科歯科にわたる口唇口蓋裂診療グループ、昭和大学口蓋裂診療班（SCPT）を立ち上げたのがその前身です。現在では当たり前のように語られるチーム医療ですが、当時



は画期的な存在でした。その後、昭和大学病院内に唇裂口蓋裂センターとして活動を続けてまいりましたが、実質上はSCPTを包括的なグループとしてアメリカ口蓋裂学会にも登録を行っています。開始からの総患数は5000名を超え、他院からの2次修正を加えると8000名ほどになり、国内では最も数多くの診療実績を誇っています。この10月からは、大学直属のセンターとして活動を開始いたします。拠点は藤が丘病院に移しますが、37年間で蓄積したグループのノウハウを生かしながら、さらに充実した診療を進めていきたいと考えております。

ホームカミングデー開催

ホームカミングデーが旗の台キャンパスと横浜キャンパスでそれぞれ開催され、合計171人の参加があった。

旗の台キャンパス (10月8日開催)

今年度は卒業後50年となる医学部35回生と卒業後25年となる医学部60回生、歯学部10回生、薬学部23回生が招待された。卒業後50年にはゴールデン表彰として受賞代表者の片桐敬さん、卒業後25年にはシルバー表彰として各学部代表者の内田直樹さん、坂井信裕さん、渡邊徹さんから小出良平学長から盾が授与された。



応援指導部が先輩にエール

横浜キャンパス (10月29日開催)

今年度は卒業後15年にあ



あいさつする小口勝司理事長

上條記念館建設の進捗状況

昭和大学創立90周年の記念事業として建設中の上條記念館（平成31年4月完成予定）は、ことし4月から10月までに掘削や地面を平らにする床付け工事などを終え、11月には建物の骨組みにあたる基礎や柱などの工事に着手した。上條記念館は地下2階地上5階建ての建物で、現在工事を進めている地下部分には学会やコンベンションが開催できる会議室（バンケットルーム）などが設けられる。



完成予定図 (平成31年4月完成予定)



建設現場 (東病院から11月初旬撮影)

全ては健康を願う人々のために
 わたしたちは社会・顧客と共生し、
 独自のサービスの提供を通じて新しい価値を共創し、
 世界の人々の医療と健康に貢献します

共創未来グループ
東邦薬品株式会社
 http://www.tohoyk.co.jp/



三菱東京UFJ銀行

保険・資産運用・住宅ローン等のご相談は
 各最寄の店舗までお気軽にご相談下さい。

- 長原支店 TEL: 03-3720-0171
- 横浜藤が丘支店 TEL: 045-971-2201
- 港北ニュータウン支店 TEL: 045-941-1512
- 深川支店 TEL: 03-3641-8301
- 烏山支店 TEL: 03-3307-3613

永年勤続者表彰式

11月14日 上條講堂

平成29年度永年勤続者表彰式が11月14日、上條講堂で執り行われ、勤続35年25人、勤続25年64人、勤続15年114人、(計203人)に表彰状と記念品が贈呈された。



勤続35年・25年表彰者

35年表彰者(25人) ※敬称略

- 松永 雅美 富士吉田教育部
- 境野 利江 歯科病院歯科放射線科
- 中村 亮 昭友商事(出向)
- 国枝 智明 施設部施設課
- 佐藤 誠 学事部
- 大岡 博司 昭和大学病院管理課
- 岩田 裕次 東病院管理課
- 沼尻 克己 藤が丘病院事務部
- 久米 徳明 烏山病院事務課
- 古矢 信治 烏山病院事務課
- 鈴木 春美 歯科病院事務課
- 水嶋まゆみ 江東豊洲病院管理課
- 鈴木 浩 江東豊洲病院医療推進課
- 中澤 緑 歯科病院歯周病科
- 山森 博之 総務部総務課
- 新関 茂子 リハビリテーション病院5階病棟
- 立川 京子 横浜市北部病院看護部
- 磯川 悦子 江東豊洲病院看護部
- 小林 智子 昭和大学病院薬局
- 福永 尋子 烏山病院薬局
- 片平 英一 横浜市北部病院臨床病理検査室
- 近藤 峰子 横浜市北部病院臨床病理検査室
- 矢幡由佳子 烏山病院検査室
- 木村 幸子 江東豊洲病院臨床病理検査室
- 及川 佳恵 江東豊洲病院臨床病理検査室

- 大原 眞子 藤が丘病院医療推進課
- 竹田百合恵 リハビリテーション病院管理課
- 川副 厚 横浜市北部病院クオリティマネジメント課
- 中本 有紀 横浜市北部病院地域医療連携事務室
- 齊藤 由美 歯科病院事務課
- 森山 郁子 図書館
- 加藤 強 図書館
- 藤岡かよ子 医学部顕微解剖学
- 安齋 若子 富士吉田教育部
- 千葉 克美 歯科病院中央放射線室
- 清宮 貴 藤が丘病院防災センター
- 福元 裕作 烏山病院中央監視室
- 會田 恵子 昭和大学病院中央手術部
- 小野 幸子 昭和大学病院整形外科外来
- 吉野 敏子 昭和大学病院10階病棟
- 岡田 直美 藤が丘病院患者サポートセンター
- 前田うづみ 藤が丘病院外科外来
- 澤巳 千秋 藤が丘病院5階南病棟
- 吉澤 由美 藤が丘病院5階南病棟
- 鶴田 里美 藤が丘病院9階病棟
- 水上 昌子 リハビリテーション病院5階病棟
- 藤田 幸子 横浜市北部病院看護部
- 宗像 光子 横浜市北部病院手術室
- 坂内めぐみ 横浜市北部病院8階A病棟
- 二ノ宮律子 烏山病院看護部
- 波木井恵子 江東豊洲病院看護部
- 宮田 幸子 江東豊洲病院外来
- 嘉指 清美 リハビリテーション病院2階病棟
- 鈴木 純子 烏山病院C3病棟
- 加藤 慎子 昭和大学病院薬局
- 渡辺 聡 昭和大学病院病理検査室
- 遠藤由紀子 昭和大学病院生理検査室
- 宇賀神和久 昭和大学病院細菌検査室
- 望月 裕乃 東病院検査室
- 船宝 直美 藤が丘病院臨床病理検査室
- 藤森 弘樹 藤が丘病院藤が丘内視鏡センター
- 阿南 晃子 リハビリテーション病院臨床検査室
- 松田留美子 横浜市北部病院臨床病理検査室
- 関口 博子 横浜市北部病院臨床病理検査室
- 佐藤 純子 江東豊洲病院臨床病理検査室
- 関口 孝次 江東豊洲病院臨床病理検査室
- 中村 雅美 横浜市北部病院放射線部
- 大石 竜 昭和大学病院臨床工学室(CE)
- 東 哲士人 藤が丘病院臨床工学室(CE)
- 森本 嘉純 江東豊洲病院臨床工学室(CE)
- 山田 美紀 歯科病院歯科衛生士室

25年表彰者(64人)

- 柴沼 質子 薬学部腫瘍細胞生物学
- 堀川 浩之 富士吉田教育部
- 平野 勉 東病院糖尿病・代謝・内分泌内科
- 稲垣 克記 東病院整形外科
- 小岩 文彦 藤が丘病院腎臓内科
- 弘重 壽一 江東豊洲病院総合診療科
- 中内 暁博 医学部法医学
- 堀田 康弘 歯学部歯科理工学
- 佐藤 久弥 大学院保健医療学研究科
- 関 健次 歯科病院歯科放射線科
- 松林 智子 薬学部分析センター
- 西野 智美 歯科病院歯科放射線科
- 浅田 恵子 医学部附属看護専門学校教員室
- 山口 敏子 昭和大学病院クオリティマネジメント課
- 西正 讓 昭和大学病院医療推進課
- 土岐 悦子 東病院管理課
- 土屋 純子 藤が丘病院管理課
- 佐々木麻子 藤が丘病院医事課

受験シーズン到来!

推薦入試・編入学試験を実施

平成30年度推薦入試・編入学試験が11月3日(金・祝)、旗の台キャンパスで実施され、ことしの受験シーズンが始まった。

医学部では初めて特別協定校推薦入試が実施され、4月に特別協定校として協定を締結した昭和女子大学附属昭和高等学校の生徒が受験した。

11月4日(土)には医学部附属看護専門学校でも試験が行われた。



試験場入りする受験生

学部	試験区分	試験日	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
医学部	推薦	11月3日	若干名	1	1	1
歯学部	推薦		25	66	66	35
	編入学I期		若干名	11	11	2
薬学部	推薦		55	137	137	72
保健医療学部	看護学科 推薦	11月4日	30	95	95	33
	看護学科 編入学		10	6	6	4
	理学療法学科 推薦		5	14	14	6
作業療法学科	推薦	10	13	13	10	
医学部附属看護専門学校	推薦	11月4日	70	160	158	91
	学士		10	41	38	10

“進化論”テーマに

緑風祭 開催

第21回緑風祭が10月28日・29日の二日間、横浜キャンパスで開催された。

ことしのテーマは「進化論」。今まで積み上げてきた学園祭をさらに発展させた学園祭をさらに発展させた後輩へ受け継いでいきたいとの願いが込められている。当日は台風の影響により屋内開催となったが、各種模擬店や血圧測定体験や車イス体験など各学科ならではの体験企画で会場は盛り上がりを見せた。



の体験企画で会場は盛り上がりを見せた。

また、緑風祭の2日間をつくり上げるために実行委員のみんなが本場に力になってくれました。一緒に準備をしているときに「お疲れさま」と言ってくれるその一言で緑風祭が終わるまで頑張ろうと何度も思いました。特に最後まで相談に乗ってくれた副委員長の川瀬さんと会計の新本さんに

緑風祭を終えて

緑風祭実行委員長 本郷 智佳 (保健医療学部 理学療法学科3年)

は感謝しています。何か一つでも変えたいと思いついてみようと上った緑風祭が、今後も変わり続けいつか多くの人で賑わう保健医療学部の一大イベントになってほしいと願っています。

最後に緑風祭に足を運んでくださった皆さまに在校生を代表してお礼申し上げます。ありがとうございました。



医学堂書店

品川区 旗の台 電話(03) 3783-9774

お忙しい幹事様へ

パーティお手伝いします

会場手配
事前打合せ
招待状発送
出席席・会費管理
交通手配等
一部でも全部でも

昭友商事株式会社
3784-8280

第7回 マダガスカル口唇口蓋裂医療協力 ～ 参加した学生の感想 ～

医学部5年 北風和也

私の本プロジェクトへの参加の動機は二つあります。一つ目は学生の立場ではなかなか経験することができない国際医療協力を実際に参加することで、発展途上国の医療を肌で感じることです。二つ目は医学部5年になり、昭和大学の理念であるチーム医療を体現したいと考えたことです。



医療環境と衛生環境が充実整備されていないマダガスカルにおいて、二週間という限られた時間、限られた物資や人員で効率的かつ効果的に活動するにはどのように行動すべきか、本プロジェクトに参加することは医療協力について考える貴重な機会になりました。医学部5年というフレッシュな視点を持った状態で発展途上国の医療協力を携わり、医療の原点を感じた経験は、私の人生にとってかけがえのないものになりました。私が学んだことや感じたことを多くの医療従事者と共有し、両国の医療の発展に必要なものは何かを考え、私にできることを見出したいと思います。このような貴重な機会を与えてくださったすべての方々に感謝いたします。

歯学部5年 原隆蔵

9月9日から15日間マダガスカルのアツイラベにあるアヴェマリクリニックで研修を行いました。日本からマダガスカルまでは約24時間のフライト。パリを経由して首都であるアンタナリボに降り立ちました。到着してすぐ目に入ってきた道路の脇にポイ捨てされているゴミの山と、あちこちで舞う砂埃が印象的でした。発展途上国へ行くのは初めてなので現地の生活には驚きの連続でした。

現地では外来や手術、ワクチン接種の手伝いや薬局、歯科医院見学、マトロン（お産婆さん）家訪問などのフィールドワーク、市場や動物園、大使館の訪問などを行いました。周りには歯が無い人や虫歯により歯

薬学部5年 樋口照真

自分は以前より国際交流に関心があり、将来も医療人として世界の舞台で活躍できる人間になりたいと思っていました。そんな自分にとってマダガスカルでの医療協力は多くの経験を積める大変魅力的な機会だと思います。志望しました。乗り継ぎを含め30時間以



保健医療学部 看護学科3年 溝口麻鈴

発展途上国であるマダガスカルでの医療や公衆衛生の現状を肌で感じ、現地の人々や文化に触れ自分の視野を広げたいと思い、今回の医療協力に参加しました。現地では手術室の設置の手伝いに始まり、外来や手術の見学に器械出しの体験および病院見学、そして子供への予防接種の補助を行いました。さらにフィールドワークでは、歯科医院やマトロン（お産婆さん）への訪問、現地の薬局見学、市場にも行きました。

初めて行った外来では裸足で遠方から何時間も歩いてきた方がいたり、市場では生肉にたくさんハエがたかっている衛生状態など、

特別寄稿



山本 晋也（映画監督）
マダガスカル口唇口蓋裂医療協力団 映像担当

「二本のたばこ」
この度、昭和大学マダガスカル口唇口蓋裂という難病の外科手術医療支援として、数年前に、作家の曾野綾子さんに「カントク、神様の奴隷になる気ある？」こんな会話から医療支援に参加した。「神様の奴隷ならいいですよボクは...」で、四年ほど前から参加です。口唇口蓋裂の手術は別として、ボクは、マダガスカルの人々との交流をポイントにしました。通訳さんもほとんど居らず、パントマイム風で話したのですが、ボクはたばこのみのヒト。このたばこがすべてよしという偶然。「たばこ切らし街中で買いため時」吸うアクションをして、彼の国の若者に求めたところ、なんと買ってきたのが、たばこの一本。これには驚いた、日本の終戦直後のよう。バラ売りでしたが、一本もってきて「ハイ！」。この一本のたばこ以後交流の始まり。自分の日本製たばこを箱より一本差し出して、

ライターをつけると、ほとんどの男性はニコニコと友人。支援ですからホテルに泊まらず、アベ・マリア修道院に宿泊、外でロケ以外吸えませんが、こんな経験は、北朝鮮の平壤でマイクロボスの運転手さんが、ロケ待ちの時、ズラーツと座っている人々と会話（なんとたばこを出すと、ほとんどの方が日本語が話せるフシギ）、テレビで言えない信じられない庶民の本音が入ってくる。



このように、一本のたばこが、これほどのコミュニケーションの威力があるとは...。陽が昇ると人々が仕事、暮れると街は無人になるといふ自然中の自然の国。夜は星の国。一本のたばこがこれほどの存在だとは。

日本神経治療学会賞

小野賢二郎教授が受賞

第35回日本神経治療学会総会が11月16日から18日、ソニックシティおよびパレスホテル大宮で開催され、小野賢二郎教授（医学部内科学講座神経内科学部門）が2017年度日本神経治療学会賞（学術部門、1名）を受賞した。本賞は神経治療に関連する基礎研究や臨床研究の優れた業績に対して贈られる論文の内容、インパクトファクター（文献引用影響率）を元に選考される。小野教授はアルツハイマー病の病態で最も有力な仮説とされるアミロイド仮説、さらには近年のオリゴマー仮説に基づいた研究を様々な生物物理、生理学、生化学的



健康応援オーケストラ 株式会社 メディセオ

東京本社/〒104-8464 東京都中央区八重洲二丁目7番15号 TEL/03 (3517) 5050 (代)

URL/http://www.mediceo.co.jp

学生海外研修報告

「私が体験したこと」

カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UCLA)

横塚 紳之介 (医学部2年)

今回の研修を通して、海外に留学するという事は自分自身への挑戦だと感じました。右も左もわからない異国の地に、英語もまともにしゃべることができない自分が行くことは非常に不安でした。しかし、実際に研修を終えて感じることは言語の巧拙は海外において全く問題にならないということでした。UCLA Medical Center, 見学の機会を与えてくださったサラモン典子先生は、「アメリカの中では日本人は非常に少数派である」とおっしゃっていました。この言葉は単に、アメリカの中に日本人の医師や研究者、学生が少なくと言っているのではなく、多岐にわたる日本人は自らの外国語力に自信を持って、外国語を話す機会を自ら失っているという状況を言っているのです。また典子先生は、日本人は他の人に比べ積極性がないとおっしゃっていました。海外で通用するためには言語を磨く前に積極的に物事に取り組み挑戦していくという当たり前のことを忘れてはならないと痛感しました。自分の考え方や世界の中の立ち位置を見つめなおすことができた有意義な研修でした。

ジエームスタウン コミュニティカレッジ(JCC)

岡本 麻由 (薬学部3年)

私は、英語能力の向上と世界に目を向けたいという思いを持って、夏休みの期間を利用して7月30日から8月20日まで語学研修に行ってきました。アメリカでの授業はディベートが中心で、日本人にとってはなかなか自分から発言するのは難しいと感じていましたが、慣れてくるとだんだんと発言できるようになってきました。また、授業でよく政治や世界情勢のディベートになりましたが、私たち日本人はその話し合いに参加することが難しいことが多々ありました。中国やアメリカから来た生徒は、自分たちの国内で内乱や問題を抱えていることが多く、それ故に自国だけでなく他国に対しても強い関心を持っていました。しかし、日本は比較的問題が少なく、世界に目を向ける機会を失いがちです。これからは、もっと広い視野で世界に目を向け、さまざまな出来事に自分から関心を持つていくべきだと認識しました。



と認識しました。アクティビティとして、ナイアガラの滝や自然公園に行くこともありました。このときは、さまざまな国から来た友人たちと英語で会話する機会もあり、また他国のことについても知ることができました。 各国の教育システムの違いや症例について具体的な話ができて、良い刺激を受けることができました。帰国後も交流が続いており、良い仲間に出会えたことに感謝しております。また来年も参加したいと思える大変充実した会議となりました。 学生のうちにアジアの人達と交流することはこれからの学習に刺激を与えられるような経験ができるので参加することをぜひお勧めします。 今回ご指導ご協力いただきました宮崎隆先生、桑田啓貴先生、上條竜太郎先生、山田篤先生、口腔生化学講座の皆さま、国際交流センターの先生方にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。



アジア太平洋歯科学生会議 (APDSA)

南 えりか (歯学部4年)

2017年8月1日から5日に香港で開催されたアジア太平洋歯科学生会議(APDSA)に参加しました。(APDSAはアジア太平洋地域の歯科学生の国際交流団体で、毎年夏に開催される学生レベルでの交流を深めることを目的としています。)今年日本人学生31人を含む総勢300人以上の学生が参加しました。



本学からは戸田山直輝、家泉裕香、中村圭介、南えりか、大塩葵、千田裕美子の6人が参加し、うち3人(家泉、南、大塩)はScientific Research Competitionにも参加しました。 各国の教育システムの違いや症例について具体的な話ができて、良い刺激を受けることができました。帰国後も交流が続いており、良い仲間に出会えたことに感謝しております。また来年も参加したいと思える大変充実した会議となりました。 学生のうちにアジアの人達と交流することはこれからの学習に刺激を与えられるような経験ができるので参加することをぜひお勧めします。 今回ご指導ご協力いただきました宮崎隆先生、桑田啓貴先生、上條竜太郎先生、山田篤先生、口腔生化学講座の皆さま、国際交流センターの先生方にこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

ハワイ大学 ワークショップ

平石 優理 (医学部5年)

ハワイ大学医学部(JA BSOM)のSummer Medical Education Instituteに参加しました。 このワークショップでは臨床推論をPBL形式で学ぶほか、英語で医療面接や身体診察を模擬患者さん相手に実践したり、マネキンやシミュレーターを用いて内視鏡検査・鏡視下手術などの手技を体験し



就任のお知らせ (11月14日 理事会承認)

富士吉田教育部生理学 教授
金丸 みつ子
 現：医学部生理学講座
 生体調節機能学部門 准教授
 任命日：平成30年4月1日

最後にになりましたが、このような貴重な機会を提供して下さった方々、ご尽力くださった全ての方々に心より感謝申し上げます。高いモチベーションを持ってこれからの努力を重ねていきたいと思っております。

昭和大学 公認サークル紹介

郷土料理研究会

【サークルの概要】

- ・所属人数：26名 (男：23名 女：3名)
- ・活動日：月に1～2回程度
- ・代表者名 新井 一成

当サークルは、「郷土料理」をテーマに、サークルメンバーの地元を訪れ、歴史を学び、その地域の郷土料理や名産を食し、語り合い職員同士のコミュニケーションを円滑にするサークルです。この郷土料理研究会サークルでは

- ・「その土地を知る」、知らない町に興味を持ち「繋がり」を増やしていく
- ・新たな発見や気付きによって、各々の感性を高める
- ・他職種でのコミュニケーションを潤滑にすることに重きを置いています。

ただでさえ、都心一極集中、地域衰退と叫ばれているこのご時勢、ふるさと納税がブームの時代ですが、昭和大学サークルの「郷土料理研究会」で地方・地域活性化の一助になればいいなと考えています。

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方々
 (平成29年10月1日～10月31日お申し込み分)

教育研究への寄付
 [一般] 籾木 衡平様 [父母] 医療法人隆望会 理事長 東 隆行様

医療施設への寄付
 [一般] 高橋 明様

創立90周年記念事業への寄付(上條記念館建設)
 目標寄付金額：10億円
 累計寄付金額：239,956,853円(H29.10.31現在)
 ※上條記念館建設事業へ累計100万円以上のご寄付をされた方は上條講堂(新)座席へ芳名プレートを設置し、顕彰させていただきます。(申込状況は下図参照)

[父母] 医療法人俊和会 理事長 中西 俊郎様

[同窓]
 島袋 良夫様(医31回生) / 海老原 為博様(医38回生) / 齊藤 容子様(歯10回生)
 株式会社大和調剤センター 代表取締役 野中 明人様(薬6回生)
 医療法人社団育陽会 東京聖徳病院 院長 下島 二郎様(医28回生)
 医学部57回生 一同様(医57回生) / 鈴木 吾登武様(医56回生)

[職員] 山本 滋様

[備考] ※申込順となっております。
 ※名前の公表を希望されない方については、掲載していません。
 ※申込時に同窓欄へ記載があった方につきましては、名前の後に学部と卒業回生を掲載しております(職員は除く)。
 医…医学部 歯…歯学部 薬…薬学部 保…保健医療学部

上條記念館建設事業 上條講堂(新)
イス芳名プレート席数
既申込数 91席
対象席数 437席
 平成29年10月31日時点

※黒塗り部分が既申込席となります。
 ※本事業への寄付が100万円以上の方が対象
 ※前方2列はプレート設置対象外です。
 (図)上條記念館内上條講堂(新)1階